|  |
| --- |
| **6年生［社会\_暮らしの中の政治］（札幌市立山の手南小学校）** |

　札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

**■実施例**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 実施校 | 札幌市立山の手南小学校 |  | | 実施日 | | | 2013年7月4日（水） ６校時 | | | |
|  | |  |  | | | | | |  | | |
|  | 科目/単元名 | 社会「暮らしの中の政治～身近な暮らしと政治～」［６時間扱い　本時４/６］ | | | | | | |  | 指導者 | 栗原　聡太郎 |
|  |  |  |  |  | | |  | | | | | |
|  |  | | | | |  | | | | | |

**［指導計画］**

|  |
| --- |
| **1.教材にかかわって** |
| **①学習指導要領の位置づけ** ［小学校学習指導要領解説　社会編］  ●目標と内容（２）   |  | | --- | | ア　国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。 |   ●内容の取扱い（２）   |  | | --- | | ウ　アの「地方公共団体や国の政治の働き」については、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から選択して取り上げ、具体的に調べられるようにすること。 |   政治の働きについての指導では、学習が抽象的にならないよう、また、調べる事例が羅列的にならないように、児童の関心や地域の実態に応じて、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から事例を一つ選択して取り上げ、具体的に調べるようにすることが考えられる。  （中略）  また、地域の開発を取り上げる場合、その事業について、計画から実施までの経過、規模や予算に着目し、その事業の実施に当たっては、市役所、県庁が、それぞれの地域の実態に応じて、住民の願いを取り入れながら、国と協力したり長期的な見通しを立てたりして、望ましい施策を決定し、実行していることを具体的に調べるようにする。 | |
| **②モビリティ・マネジメント教育の視点から**  札幌市の公共交通の歴史をたどると、明治４２年の馬車鉄道にまでさかのぼる。その後、馬車鉄道が市営電車に変わり、昭和５年にはバス事業が始まり、昭和４６年には地下鉄の営業も開始した。札幌市の発展とともに公共交通の役割は大きくなり、札幌市民の足として市民に親しまれてきた。  しかし、近年の自動車普及と都市の郊外化に伴い、急速に公共交通の利用人数は減少してきている。そのため、多くのバス路線が赤字路線に変わり、多額の補助金を投入しなければ運営維持できない状況になっている。札幌市の路面電車も例外ではない。慢性的な赤字経営が問題となり廃線の声が上がってきたのである。  しかし、札幌市は市電の存続を平成１７年に決定した。市民との幅広い議論の末、市民の願いを受け、路面電車をまちづくりの中で積極的に活用していくという考えのもと、平成24年には「西４丁目」と「すすきの」をつなぎ、路線をループ化する計画を策定した。  このように公共交通の魅力を再発見し、市民と共に新たなまちづくりへと踏み出す札幌市の姿は全国の公共交通をとりまく多くの問題の解決の糸口になると考える。このような「さっぽろ」らしい公共交通のあり方を子どもたちと学び、北の大地から全国へ発信していきたい。 | |
| **③教科書の活用**  教科書では東京都世田谷区の新ＢＯＰを取り上げている。しかし、教科書の事例では政治の働きについて具体的に学習を進めることは難しい。そこで、本実践では、札幌市の路面電車活用計画を取り上げる。札幌の子どもたちにとって身近な市電を扱うことで、国民生活の安定と向上を目的とした政治の在り方をより自分たちの生活を結びつけて捉えることができると考える。  また、教科書の資料や構成は積極的に学習に取り入れてく。子どもが理解するのに容易ではない政治の仕組みや施策決定までの流れなどは教科書の資料を活用しながらおさえていく。  このように、教科書の構成に札幌市の具体的な政治の働きをあてはめ、効果的・効率的に学習を進めていく。 | |

|  |
| --- |
| **2.単元にかかわって** |

**●単元の目標**　・日常生活における政治の働きと役割に関心をもち、意欲的に調べている。

　・政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現している。

　・国民生活と地方公共団体や国の政治とのかかわりについて調査したり、基礎的資料を活用したりして調べている。

　・国民生活には、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。

**●単元の構成**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 子どものおもな活動 |  |  | 子どものおもな活動 |
| 札幌市の現状を知り、身近な公共施設や制度を学ぶ（２時間） | 【市電の歴史】  ・市民の足  ・廃線が続く  【札幌のシンボル】  ・北海道遺産  ・観光の見所  魅力都市さっぽろ  赤字経営  廃止  １９．３％  札幌の市電は長い間札幌を支えた乗り物で、札幌市のシンボルなんだね。  ・お年寄りが増える  ・子どもが少なくなっていくよ  ・暮らしが変わっていくね  【　市議会　】  【　市　長　】  選挙  行政・選挙  【　市議会　】  【　市　長　】  【公共施設】  ・市電  ・券売機  ・スロープ  ・看板  誰もが住みよいまちにするための制度や仕組にはどのようなものがあるのだろう？  誰もが住みよいまちにするために公共施設や条例が整えられているんだね。  札幌市の市電（公共施設）を調べよう。  【　条　例　】  ・子どもの権利条例  ・福祉のまちづくり条例  等々  【　市　民　】  市民の代表として市民の願いを大切にしながら政治を行うことが大事なんだね。  【まちづくり】  ・観光の名物に  ・車に頼らない  【市民の願い】  ・会議での声  ・アンケート  どうして、市長は市電の存続を決定したのだろう？ | （本時） | IMG_0305  税金を納める  **新ＢＯＰ制度**  【　住　民　】  【　区議会　】  【　区役所　】  日本全国、どの場所でも住民の願いを取り入れて政治が行われているんだね。  札幌市以外のまちでも同じように政治が進められているのか確かめよう。  路線をループ化  公共施設  道路整備  安全な暮らしを守る  障害のある人の支援  所得税  法人税  消費税  住民税  様々な税によって国民から集められ、道路整備や福祉、教育など国民のために使われるんだね  税金はどのように納められ、どのように使われるのだろう？  札幌市と市民とがともに意見を出し合ってまちづくりをすすめることが大事なんだね。  【　市　民　】  **魅力都市札幌**  【　問　題　点　】  ◆タクシーが止まれない  ◆荷物の積み下ろしができない  ◆大金がかかる  【　良　い　点　】  ◆利用者が増える  ◆観光客が増える  ◆お店がもうかる  ◆誰でも乗りやすい  路線のループ化には、どんな良い点と問題点があるのだろう？ |
| 税金のはたらきを知り、他の事例から政治の仕組についての理解を確かめる（２時間） |
| 住民の願いが実現する仕組を学ぶ（２時間）  存続  ６８．７％ |

|  |
| --- |
| **３．本時の目標と学習展開** |

●目標

・市電の路線をループ化することの利点と問題点を考えることを通して、市の政策が市民との対話を大切にしながら進められていくことや市と市民が共に政治を行っていくことの責任や大切さに気付くことができる。

|  |  |
| --- | --- |
| 学　習　展　開 | 教師のかかわり |
| 前時までに子どもたちは札幌市の観光客が減少していることや市電の歴史、市電が市民との対話のもと存続し、路線のループ化が決定したこと理解している。  IMG_0305  札幌市路面電車活用計画  ・新型車両を購入する  ・すすきのと西４丁目をつなぐ  ・サイドリザベーション方式  路線のループ化には、どんな良い点と問題点があるのだろう？  C:\Users\kudo\Desktop\学校MM素材0319.png  札幌市と市民とがともに意見を出し合ってまちづくりをすすめることが大事だね。  【市民の姿勢】  ◆意見を積極的に出す  ◆政治に関心をもつ  【札幌市の責任】  ◆市民の声や願いを取り入れながらまちづくりを行う  だれが、どのようにループ化の計画を進めていっただろう？  【　良　い　点】  ◆利用者が増える  ◆観光客が増える  ◆市電の周りのお店がもうかる  ◆だれでも乗りやすい  （お年寄り、体が不自由な人）  ◆気軽に利用できる  【　問　題　点　】  ◆タクシーが止まれない  ◆荷物の積み下ろしができない  ◆車道が狭くなる  ◆お金がたくさんかかる  　→19億円 | ○ループ化についての学習を想起できるように、児童が書いた前時のふり返りノートを紹介する。  ○新聞記事を提示しループ化計画にはメリットとデメリットがあることを伝える。  ○ループ化の利点と問題点を新聞記事から具体的に考えることができるようにかかわる。  ○より多くの児童が意見を表出できるようループ化のよさと問題点について小グループで交流する場を設ける。  ○市長、議会、市民が共に計画を進めてきたこと理解させるために、ループ化の計画をだれが進めたのか問い、図を用いて説明する。  ○市民と対話を進めながら計画を進めてきたことがわかるよう、ワークショップや市民会議の写真を提示する。  ○市民が政治に対して関心をもつ大切さに気付くことができるように、ループ化計画に寄せられたパブリックコメントの数を提示する。 |

板　書　計　画

路線のループ化には、どんな良い点と問題点があるのだろう？

**札幌市と市民とがともに意見を出し合ってまちづくりをすすめることが大事。**

【札　幌　市】

市長　　　　　議会

【　問　題　点　】

◆タクシーが止まれない

◆荷物の積み下ろしができない

◆車道が狭くなる

　→渋滞が起きる

◆お金がたくさんかかる

【　良　い　点　】

◆利用者が増える

◆観光客が増える

◆市電の周りのお店がもうかる

◆だれでも乗りやすい

（お年寄り、体が不自由な人）

◆気軽に利用できる

**魅力都市**

**さっぽろ**

【市民】

関心をもつ

意見を出す

|  |
| --- |
| **4.本時で活用する資料** |

**●本時で活用する資料**

|  |  |
| --- | --- |
| 札幌市路面電車活用計画 |  |
|  |  |

|  |
| --- |
| 札幌らしい交通環境学習2013 |